

# 「仲道郁代 ブラームスを語る」(2)

## 若い音楽家たちと室内楽曲にチャレンジする

- 
- ベートーヴェン / 3つの弦楽三重奏曲より ハ短調 Op. 9-3 30min  
Vn. 小川恭子 Va. 田原綾子 Vc. 村井智
  - モーツァルト / ピアノソナタ 第3番 変ロ長調 K. 281 20min
  - グリーグ / 「抒情小曲集」から「アリエッタ」「ノクターン」「昔々」  
P f. 仲道郁代
- 
- ブラームス / ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 Op. 25 40min  
Vn. 小川恭子 (桐朋学園大学2年在学)  
Va. 田原綾子 (桐朋学園大学2年在学)  
Vc. 村井智 (桐朋学園大学カレッジデパート在学)  
P f. 仲道郁代 (桐朋学園大学教授)

曲目・曲順が変更になる場合があります

司会と監修 西原稔 (JBS 顧問 桐朋学園大学教授)



© Kiyotaka Saito

<http://www.kuyo-nakamichi.com>



### 仲道郁代 (ピアノ)

国内外での受賞を経て1987年ヨーロッパと日本で本格的にデビュー。リサイタルも全国各地で開催しており、中でも「ベートーヴェン・ピアノ・ソナタ全曲演奏会」とレコーディングは、作品への真摯な取り組みと音楽性が高く評価され「ベートーヴェン弾き、仲道郁代」という評価を確固たるものとしている。近年は、ショパン、モーツァルト、ベートーヴェンなどの各シリーズ企画、毎年恒例となったサントリーホールでのコンサートなどが好評を得ている。他にも、子どもたちに音楽との幸せな出会いをして欲しいとスタートしたプログラム「不思議ボール」、各地の学校を訪問するアウトリーチ活動など、魅力的な内容とともに豊かな人間性がますます多くのファンを魅了している。レコーディングはソニー・ミュージックジャパンインターナショナルと専属契約を結び、クラシック音楽としてはこれまでにないヒットを記録したアルバムなど多数のCDをリリースしている。ベートーヴェン ピアノ・ソナタ第30.31.32番は、2007年度第45回レコード・アカデミー賞(器楽曲部門)を受賞。著作には『ピアノの名器と名曲』、『ショパン 鍵盤のミステリー』『ベートーヴェン 鍵盤の宇宙』(ナツメ社刊)等がある。テレビ番組、新聞、雑誌、ラジオなどメディアへの出演も多く、音楽の素晴らしさを広く深く伝える姿勢は多くの共感を集めている。2003年からは、地域社会の活性化と音楽文化の発展を目指し、一般財団法人地域創造理事、大阪音楽大学特任教授、2012年からは桐朋学園大学教授としても、積極的に活動している。

# 2014年6月1日(日) 2pm 開演

## 会場 ヤマハ銀座店(7丁目) 6F サロン 90席

## チケット 全自由 一般¥6000(会員優先) 学生¥2500(会員限定)

後援 ハンブルク国際ブラームス協会、アメリカブラームス協会  
 共催 (株)ヤマハミュージッククリティリング ヤマハ銀座店 (お問合せ先/JBS)  
 主催 日本ブラームス協会 HP <http://www3.ocn.ne.jp/~jbs>  
 お問合せ Eメール [jbs1973@jcom.home.ne.jp](mailto:jbs1973@jcom.home.ne.jp) (JBS)  
 チケット 会員優先のため一般販売の有無は5月のHPでお知らせいたします。



**Vn 小川恭子 (おがわ きょうこ)**

東京都出身。第59回全日本学生音楽コンクール小学校の部全国大会優勝。併せて兎束賞、東儀賞、都築音楽賞、毎日小学生新聞賞を受賞。ドイツ・ワイマールで行われた第5回レイ・シュポア国際コンクール第二位及びドイツロータリー賞を受賞。英国音楽誌のストラド誌より“Kyoko Ogawa (Japan) convinced as a fine violinist with superb variations in vibrato, rhythmic delicacy, sensitivity and rich coloration.”との講評を頂く。オーストリア・ザルツブルクで行われた第10回モーツァルト国際コンクール最年少セミファイナリスト・ディプロマ受賞。第17回日本モーツァルト音楽コンクール優勝、日本弦楽指導者協会賞を受賞。ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール2014第一位、グランプリ受賞。副賞として、ミラベル宮殿シュロスコンツェルト出演予定。かさま国際音楽アカデミーやミュージックアカデミーinみやざき等のマスタークラスを受講し、音楽賞等を受賞。これまでに、大友直人指揮東京交響楽団、マーティン・ホフ指揮ワイマール州立歌劇場管弦楽団等と共演。日本ブラームス協会主催フレッシュコンサート(1)で演奏する他、ヤマハ主催音楽大学フェスティバルコンサート(於銀座ヤマハホール)へ桐朋学園大学代表として出演。桐朋学園オーケストラ演奏会や有志による Ensemble Benedictio にてコンサートミストレスを務める。現在、桐朋学園大学3年在学中。室内楽を毛利伯郎、藤原浜雄の両氏に、ヴァイオリンを辰巳明子氏に師事。

**Va 田原綾子 (たはら あやこ)**

1994年神奈川県出身。5歳よりヴァイオリンを始め、18歳よりヴィオラの指導を受ける。第11回東京音楽コンクール弦楽部門第1位及び聴衆賞、第9回ルーマニア国際音楽コンクール弦楽器部門第1位併せて全部門最優秀賞を受賞。プロジェクトQ第9章、第10章、ヴィオラスペース2013、小澤国際室内楽アカデミー、奨学生として韓国音楽祭GMMFS等に参加。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」、NHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」、JTが育てるアンサンブルシリーズ等に出演。これまでに東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団と共演。現在、ソロを藤原浜雄、岡田伸夫、室内楽を原田幸一郎、毛利伯郎、三上桂子の各氏に師事。桐朋学園大学音楽学部2年に在学中。

**Vc 村井 智(むらい さとる)**

1991年生まれ。北海道足寄町出身。4才よりチェロを始める。桐朋女子高等学校(共学)、桐朋学園大学、桐朋学園カレッジディプロコースを経て、現在N響アカデミーに在籍。2010年「チェロアンサンブル サイトウ」奨学生。これまでにチェロを上原与四郎、毛利伯郎の両氏に師事。

**解説 西原稔 (にしはら みのる) JBS 顧問**

東京芸術大学同大学院音楽研究科博士課程満期退学。現在桐朋学園大学教授。19世紀音楽と音楽社会史を専門とする。著書は「音楽の社会史」(音楽之友社)、「聖なるイメージの音楽」(音楽之友社)、「ピアノの誕生」(講談社)、「<楽聖>ベートーヴェンの誕生」(平凡社)、「音楽史ほんとうの話」(音楽の友社)、「ブラームス」(音楽の友社)。その他翻訳、監修など。ブラームス研究と並んで、シューマンのピアノ作品の成立史の研究成果が「シューマン 全ピアノ作品の研究」上下として2013年音楽之友社より出版され、2014年第26回ミュージック・ペンクラブ音楽賞をクラシック/研究・評論部門で受賞する。日本ブラームス協会では顧問として企画運営のアドバイスをするとともに「レクチャー&コンサート」を担当して、その研究成果を年会誌「赤いはりねずみ」に発表している。

**曲目変更のお知らせ**

変更前	グリーク / 「抒情小曲集」から「アリエッタ」「思い出」ほか	( '14. 2. 19付 本紙表面)
変更後	グリーク / 「抒情小曲集」から「アリエッタ」「ノクターン」「昔々」	( '14. 3. 22付 JBS-HP 掲載チラシ)